

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.2.25 No. 158 連絡先 FAX 042-555-1911



横田基地 2月21日から3月1日まで 即応準備週間（レディネス ウィーク）



15日、福生市HPに、防衛省（北関東防衛局）から、「レディネス ウィーク：即応準備週間」を実施する旨の情報提供があったと掲載あり。

演習日時は、2月21日（木）から3月1日（金）（2月23日（土）・2月24日（日）を除く）

概要は、横田基地におけるあらゆる緊急事態への対応能力を図ることを目的としたもので、本期間中、各部隊単位で行う個別の演習等及び基地全体で行う2日間のEME（緊急管理演習）が実施される予定。また、1日間、2月21日（木）に編隊飛行が実施される予定。

EMEは、2月26日（火）及び2月28日（木）に実施される予定。静かな時間帯（午後10時から午前6時）における運用予定はない、パラシュート降下等訓練の実施予定はない。

特記事項として ・本期間中、一部ゲートで入出の規制があり得る。・横田防衛事務所から米軍に対し、日米合同委員会合意の遵守に努め実施するよう口頭で申し入れた。・演習等の予定については、諸事情により変更される場合がある。という内容です。



21日 編隊飛行と 予定なしのパラシュート訓練を実施

21日にはC-130、6機の編隊飛行と、実施予定はないはずのパラシュート訓練が実施されました。年間演習計画で予定されていた運用即応演習は実施せず、大々的な「即応準備週間」の実施になりました。米軍横田基地HPには「航空従事者は、自分のスキルを磨き、太平洋地域における不測の事態をサポートする能力を強化していく」と書かれ、写真もアップされています。（2枚の写真は横田ブログ）

「コープノース」、「コブラゴールド」など 海外での訓練や演習が多い



天候悪化でロタ島に着陸した海軍のFA18の帰還支援のために、コープノース・グアムに参加の横田のC130が給油車を運ぶなどの支援をしたようです（左写真）。

多国間軍事演習「コブラゴールド」（2月11日～21日）は、タイで7カ国から13000人が参加して実施されました。防衛省から約80人が参加して邦人輸送などの実動訓練を行いました。

日米で離島奪還訓練 陸自 過去最大の280人が参加 オスプレイも使用

朝雲ニュースによると、離島奪還など島嶼部の作戦能力向上を目的とした米海兵隊との共同訓練「鉄拳作戦（アイアンフィスト）」が1月15日から2月22日まで、米カリフォルニア州の海兵隊キャンプ・ペンデルトンなどで行われました。陸自は過去最大の約280人が参加、隊員らは基礎・機能別訓練で必要技術を集中的に習得した後、サンクレメンテ島での総合訓練に臨みました。

今回は多数の幕僚が派遣され、上陸作戦の要となる指揮機関間の調整能力を高めました。現地時間の13日には、自衛隊にとっては初となるMV22オスプレイを使用しての訓練が行われました。（映像を見ると、オスプレイには「日の丸」らしきマークが付いていました。）

横田基地 C-130H 輸送機が夜遅くまで飛行して うるさい！ (No.158 の裏面)



2月14日の夜もC-130H輸送機が夜遅くまで爆音を響かせながら住宅地上空を飛行していました。

翌15日の米軍横田基地のホームページに「第374運用支援飛行隊航空機乗務員の飛行装備職人は、2月14日、横田基地で暗視ゴーグルを検査します。ナイトビジョンゴーグルは暗闇の中で行われた航空機の着陸とパイロットを支援するために使用されています。」の説明文と左の写真が掲載。

“空軍の訓令” C-130 版に 暗視ゴーグル使用着陸、強襲着陸など乗務員の必要訓練回数が細かく定められている

「C-130 輸送機が遅くまで飛行訓練してうるさい」「最近、飛行コースが変わったみたい」などの声が聞かれます。しかも通告もなくパラシュート訓練が行われている、なぜなのでしょう。

これは、“Air Force Instruction” (空軍の訓令) C-130 版 (2012年8月21日) 後の変化のようです。空軍の訓令には、C-130の乗務員の必要訓練回数が細かく定められた表があります。(横田ブログを参考)

機長にも熟練度に応じてA,B,Cのランクがあり、必要訓練回数が違います。右の表は、Bランクの乗務員が半年間で実施する訓練の回数です(1ヶ月毎、3ヶ月毎も、半年毎に換算しています)。

横田基地所属のC-130は14機あります。複数のパイロットがいれば横田基地での訓練回数は、右の表の28倍になります。

かなりの訓練回数です。例えば、普通の着陸は半年で 1,680回、補助なし(暗視ゴーグルなし?)着陸は 112回、暗視ゴーグル使用着陸は 224回、強襲着陸は 560回、暗視ゴーグル強襲着陸は 112回、重積載強襲着陸は 56回、以上の合計は 2,744回です。1ヶ月では457回です。着陸だけでもこの他に、高々度着陸、低高度着陸などあります。

パラシュート訓練もコンテナとか人員降下があり、降下のやり方も、視覚降下、間隔保持降下、悪天候降下、暗視ゴーグル降下等いろいろです。他に、編隊視覚離陸、編隊視覚復帰、光の脅威、赤外線の脅威、電波探知機の脅威 等などと、いろいろあります。

米軍が、空軍の訓令を作り、「米軍の運用上、必要な訓練」として、住宅地上空を勝手に飛行しています。私たちは危険と同居です。

アメリカでは、基地も広いし、住宅地上空を飛行訓練することはありません。米軍の訓練は、アメリカでやってもらいましょう。

横田基地を撤去して、安心・安全の暮らしを取り戻しましょう。

C-130 半年の訓練回数	
着陸	60
補助なし着陸	4
暗視ゴーグル使用着陸	8
強襲着陸	20
暗視ゴーグル強襲着陸	4
重積載強襲着陸	2
離陸	60
暗視ゴーグル使用離陸	4
強襲離陸	8
暗視ゴーグル強襲離陸	2
旋回	2
視覚低空昼間飛行	2
低空昼間編隊	1
低空暗視ゴーグル	2
低空暗視編隊	1
装置?パラシュート投下	2
コンテナのパラシュート投下	2
人員パラシュート降下	2
視覚降下	2
間隔保持降下	2
悪天候降下	2
暗視ゴーグル降下	2



横田基地の地元自治体と懇談をしています

オスプレイ配備・訓練中止を求める等の意見書を可決した自治体も広がっています。横田基地の撤去を求める西多摩の会は、地元自治体と共同して、横田基地へのオスプレイ飛来・訓練をストップさせていきたいと懇談をすすめています。(福生市にて)